

本を「よむ」

本に出「あう」

Yomu Au

中学生向け図書館だより

2021年7月（第4号）発行：加須市立図書館



本を読むのは、ジッと座っていて面白くなさそう…とっていませんか？
いえいえ、そんなことはありません！読書って、実はとってもアクティブな
こと！本を読む時は、アタマもココロもフル回転。いろいろな刺激を受けて
います。本の中では、知らない場所へ行ったり、ちがう時代へ行ったりする
ことだってできるのです。

本の世界で、すてきな時間を過ごしませんか？



中学生のみなさんにおくる 図書館員のおすすめの12冊

「いきもの人生相談室」

小林 百合子／文 今泉 忠明／監修
小幡 彩貴／絵 山と溪谷社

「学校に通うのが面倒、なんで学校
に行かなければいけないの？」「クラ
スの好きな子に自分へ興味を持って
もらうには？」…恋愛や学校、家族の
お悩みまで、動物たちが相談に乗っ
てくれますよ！厳しい自然環境を生
き抜く動物の知恵には、悩み解決の
ヒントがありそうです。
動物たちのユニークな回答にクスリ
と笑えて気持ちが軽
くなりますよ。



「ハジメテヒラク」

こまつ あやこ／著 講談社

あみの日課は脳内で身の回りの
様子を実況すること！クラスで孤
立してしまった小学生の時、一歩離
れた視点で教室を眺めて脳内で実
況し始めたのが癖になってしまっ
たのです。そんなあみが中学で入っ
たのは生け花部。無口な同級生の悩
みや先輩の恋する気持ちを知った
あみは、文化祭で生け
花や部活仲間の魅力を
伝える、実況付き生け
花ショーの開催を提案
します。



「心に太陽を持って」

山本 有三／編著 ポプラ社

長野県飯田市のりんご並木は、何十年も前に地元の中学生在が自分たちで植え育てることを提案してできたもので、今でも学生たちが管理しています。栽培が難しい、実が盗まれると反対もありましたが、それでも中学生がりんご並木づくりに挑んだのはなぜでしょうか？登場人物の生きざまから元気をもらえる話などが19話載っています。



「おもしろ謎解き

『縄文』のヒミツ」

こんだ あきこ & スソ アキコ／著
武藤 康弘／監修 小学館

「縄文時代」とは、今からおおよそ1万5000年前から始まったとされています。遺跡からは、土器や骨、住まいの跡などがみついています。発見された骨を調べると、骨にふくまれる炭素やちっ素の割合から当時食べていた食べ物もわかります。大昔のことを調べるために、最新の科学の力が使われているのです。イラストが多くて読みやすいですよ。



「農業高校へ行こう！」

全国農業高等学校長協会／監修
家の光協会

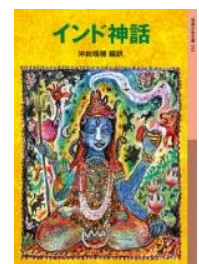
アイスクリームの製造・販売、京の伝統野菜の栽培、ドローンを使った森林の管理…。これらはすべて農業高校の授業の一例です。生徒が作物や家畜を愛情たっぷりに育てている様子について、コメントや写真とともに紹介されています。生徒がいきいきと実習に取り組んでいる姿から、農業の楽しさが伝わってきます。



「インド神話」

沖田 瑞穂／編訳 岩波書店

「神話」と聞くとワクワクしちゃう人も多いのではないのでしょうか。インド神話には多くの神（デーヴァ）と悪魔（アスラ）が登場します。あの有名な破壊の神シヴァをはじめ、鳥の王ガルダ、火の神アグニ、多くの悪魔を打ち滅ぼした英雄神インドラなど、アニメやゲームでも度々登場するモチーフがどういったものか、知っている友達から一目おかれるかもしれません。



「一生ついてまわる家事の キホンが身につく本」

大人の常識研究会／編著 大和出版

あなたは、家の手伝いをどれくらいしていますか？家事が得意な人も苦手な人も、ぜひこの本を手にとってみてください。料理、掃除、洗濯など今から身につけておきたい家事の基本が、イラストとともに分かりやすく説明されています。

また、身だしなみなどについても紹介されていますので、本を見ながら、できる事から始めてみませんか？



「ぼくは6歳、紅茶プラン テーションで生まれて。」

栗原 俊輔／著 合同出版

みなさんが飲んでいるその紅茶、どこでだれが作っているのでしょうか？スリランカの紅茶農園で働く人の暮らしは150年前からあまり変わっていません。農園で生まれ、農園内の学校に通い、農園で朝から夜まで働き、家庭を作ります。農園の外での生活や夢を描きにくい環境を改善するために、一杯の紅茶から考えてみませんか？



「おとなになるって どんなこと？」

吉本 ばなな／著 筑摩書房

「いつまでも子どもじゃないんだから…」などと言われたことはありませんか？大人になるってどういうことでしょうか？この本には、著者が経験したことを振り返り、「大人になるって難しい？」とと思っている人達に向けたメッセージが書かれています。大人への階段を上る途中でつらいことがあったらこの本を思い出してください。助けになる言葉がきっとありますよ。



「人生を変えるアニメ」

河出書房新社／編 河出書房新社

日本では、毎年数多くのアニメ作品が世に生み出されていますが、その中には見た人の生き方を変えてしまうパワーを持ったものもあります。この本では、そのような作品から影響を受けた著名人がその魅力を熱く語っています。「君の名は。」「聲の形」など最近の作品のほか、みなさんが生まれる前の作品も紹介されており、心に残るアニメがきっと見つかります。



「自分で考え、自分で書く ためのゆかいな文章教室」

今野 真二／著 かわてしほ河出書房新社

わかりやすい文章を書くには、どんなことに気を付けたらいいのでしょうか？中には、「わかりやすい文章ってどんな文章？」と疑問に思う人もいるでしょう。この本は、文章を読み書きするときの、言葉の表現方法や文の構成などについて、著名な作品や例文を用いながら説明しています。日本語の奥深さが伝わる1冊です。



「司書のお仕事 1」

大橋 崇行／著 こまがわ まさき小曾川 真貴／監修 かんしゅう勉誠出版 べんせい

新人司書の稲嶺双葉が、先輩にアドバイスをもらいながら、本の分類や本選びや調査など、表からは見えにくい仕事をこなしていきます。図書館司書の仕事を小説形式で紹介し、コラムも充実しています。司書の仕事や図書館に興味のある人はもちろん、図書館をあまり利用しない人にとっても新しい発見がありますよ。



家読（うちどく）のススメ



「家読（うちどく）」は、「家庭読書（家族読書）」の略語で、「家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書活動です。家族で同じ本を読み、感想を話し合います。読む本は、絵本でも小説でもなんでもOK。新型コロナウイルスの影響で「おうち時間」が増えた人も多いでしょう。こんな時こそ、本を囲んで家族団らんしてみませんか？

貸出中の本や、ここにのっていない本も予約・リクエストできます。

図書館には、中高生向けのコーナーや特集もあります。ぜひ一度来てください！ ※読書感想文コンクールの課題図書もありますよ！

【問い合わせ】

- | | | |
|-----------------|-----------|-----------------|
| ● 加須図書館 | 中央2-4-17 | 電話：0480-61-8200 |
| ● 騎西図書館 | 根古屋633-10 | 電話：0480-73-3178 |
| ● 北川辺図書館 | 麦倉1473-1 | 電話：0280-62-4400 |
| ● 童謡のふる里おおとね図書館 | 琴寄597-1 | 電話：0480-78-2211 |

☆図書館WebサイトURL：<https://www.library.kazo.saitama.jp/>